

新型コロナウイルスに絡んだ新手の詐欺などのニュースも目にするようになり犯罪等に対する注意の必要性がクローズアップされています。本年3月に新しく加古川警察署長に着任された大松光寿さんに管内の犯罪・事故等の発生状況等についてお話を伺いました。

「安全で安心して暮らせる加古川」に

暮らせる加古川」に



加古川警察署
署長 大松 光寿 さん

平素より加古川警察署の活動に対する温かなご支援と深いご理解をいただき、厚くお礼申しあげます。

まず、着任時の初訓示で署員に対し「大切にして欲しい3つのこと」を話しました。

1つ目は、「自分を大切に」で、自身の自己管理はもちろんのこと、客観的に自分を見てしっかりと自分に向き合って、自分の気持ちに負けないで欲しい。

2つ目は、「住民を大切に」で、管轄する一市二町の住民に対する市民応接は、自分の家族であっても同じ対応

が出来るのか、納得できるのかを考えて欲しい。

3つ目は、「同僚を大切に」で、自分の仕事は多くの同僚の支えで成り立っており、感謝・思いやりの気持ちを常に意識して欲しい。

署員とともに管内の治安情勢を的確に把握し、日々変化する多種多様な住民のニーズに応える柔軟で迅速な対応に努めてまいります。

さて、昨年中の統計から見た県下における加古川警察署の現状ですが、刑法犯認知件数は、2,408件で県下第2位、人身交通事故は1,679件で県下第1位、署への直接通報を含めた110番等件数は2万件を超え県下第1位と事件事故ともに県下で有数の発生であり、安心出来るような状況にはありません。

自損事故による死亡事故が増加中

本年1月から4月末までの間における本県の死亡事故は、36件37名となっており、その特徴としては自損事故による死亡事故が16件17名と約45パーセントを占めています。

更に、従来であれば自動車が高速で工作物に衝突するような事故が大半でしたが、近年では、自転車で側溝に転落する事故も散見され、当署管内においても同様の転落死亡事故が、昨年2

件、本年は既に1件発生しています。

事故の発生要因として、飲酒運転、前方不注意、夜間のライト不点灯等が挙げられますが、自動車に限らず自転車運転中や歩行中も「ながらスマホ」等することなく、交通安全を意識して行動して頂きたいと思えます。

特殊詐欺に要注意

当署管内における特殊詐欺の被害は、本年4月末の対比で昨年の5件から2倍強、被害額は昨年の約800万円から約2倍発生しております。

また、犯人グループのアポ電（アポイントメント電話）も多発していますので、皆様には次の点に留意の上、より一層の防犯対策をとっていただきますようお願いいたします。

- 「暗証番号は教えない」
- 「キャッシュカードは渡さない」
- 「電話でお金の話はすぐ切断」

このようなお金の話はすべて詐欺なので、一人で慌てず、家族や、知人、警察に相談してください。

最後になりますが、加古川警察署員一丸となって住民の皆さんに寄り添い、住民の声に耳を傾け、ともに手を携え「安全で安心して暮らせる加古川」を実感していただけるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。